

平成23年12月28日
水産庁

水産物の市況について(平成23年12月及び平成24年1月)

—東京都中央卸売市場における平成23年12月(平成23年11月21日～12月20日集計)の市況と、
平成24年1月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成23年12月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は前月と比べやや増加となり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)はやや強含みに推移しました。

II 平成24年1月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれるものの、需要は弱いことから卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。(主漁場は、北部太平洋海域(犬吠埼沿岸、三陸北部近海)、山陰沿岸)

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は冷凍原料、製品ともに需要期を過ぎつつあることから、前月と比べ減少すると見込まれるものの、卸売価格はアキサケは堅調であるが他のサケが横ばいのため、全体では横ばいに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。(主漁場は北部太平洋海域(犬吠埼沿岸)、九州西方海域。マサバ主体に変わってきている。)

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。(サイズは日本海、太平洋ともに20尾主体。)

「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。(主漁場は山陰沿岸、九州西方海域。山陰沿岸では、この時期としては異例のまとまった水揚げが続いている。)

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は需要の最盛期を過ぎることから、赤身類、脂身類ともに前月と比べ減少すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～51	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	12月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
23年	48	915	44	851	44	840
前年	53	889	53	816	52	790

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	12月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	490	92	120	114
さけ・ます(平均)	709	98	98	106
(ぎんざけ塩蔵品)	840	100	116	121
(あきさけ塩蔵品)	630	100	116	125
(ときさけ塩蔵品)	945	100	102	106
(べにざけ塩蔵品)	1,155	100	115	113
(さけ類冷凍品)	648	98	97	107
さば(生鮮品)	323	72	61	74
するめいか(平均)	370	100	96	97
(生鮮品)	366	101	94	92
(冷凍品)	400	100	107	124
あじ(生鮮品)	482	106	106	109
まぐろ(冷凍品)	1,468	104	99	99
(めばち冷凍品)	1,052	104	97	105
(きはだ冷凍品)	814	98	81	97
(くろまぐろ冷凍品)	3,240	100	96	96
(みなみまぐろ冷凍品)	2,208	91	108	97

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:12月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成18年~22年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班
 代表 03-3502-8111
 内線 6617 杉田、安井
 直通 03-3591-5612